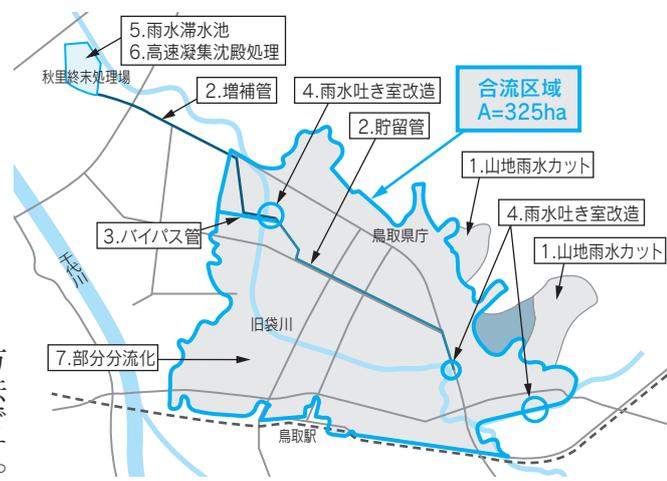


# 合流式下水道を改善します



## 合流式下水道って何？

下水道には合流式、分流式と呼ばれる二つの方法があります。分流式下水道は汚水と雨水を別々の管で排水する方式で、汚水は処理場へ、雨水は道路側溝や雨水管で直接河川に排水する方法です。合流式下水道は、汚水と雨水を一つの下水管に集めて排水する方法です。

合流式は、トイレの水洗化を進めると同時に、雨水排水もできるという二つの効果があり、下水道工事が始まった当時は、ほとんど合流式で整備され、全国では1911の都市で採用され、本市でも市街地中心部325鈔を合流式で整備しています。

合流式下水道には、所々に雨水の吐き口を設け、大雨の時は川に流れるようになっていない汚水も含まれ、川や海を汚す

## 合流式ではなぜいけないの？

## どんな方法で改善するの？

という問題があります。また、近年は都市化の進展や異常気象などにより浸水被害が増えています。これらの問題を解決するため、水質の保全と浸水対策の両面から、緊急の課題として、合流式下水道の改善に取り組むことになりました。

改善するにはどうしたらいいのでしょうか。市では平成26年を目標に、次のような7つの方法を考えています。

### 改善1 山地雨水のカット

昨年の台風でも被害をもたらした山地部分からの雨水を、雨水専用管で、直接、川に流します。

### 改善2 貯留管・増補管の建設

下水（越流水）が直接、河川に流れないよう、一時溜めておく施設で、浸水被害も防ぐことができます。溜まった下水は、雨が止んでから徐々に処理場に送水して処理します。

### 改善3 バイパス管の敷設

合流区域の汚水を、直接、処理場へ送水するためのバイパス管を

### 改善4 雨水吐き室の改造

川への放流施設（雨水吐き室）上に網状のスクリーンを設置し、放流水に含まれているゴミや固形物を取り除きます。

### 改善5 雨水滞水池の建設

降雨時、未処理の雨水を一時溜めておく施設で、秋里下水終末処理場の地下に建設し、雨が止んでから処理施設に送水して処理します。

### 改善6 高速凝集沈殿処理施設の建設

高速凝集沈殿処理施設とは、大雨のときの下水（汚水と雨水の混じりあったもの）を素早く処理する施設で、秋里処理場内に建設します。

### 改善7 部分分流化の推進（側溝の新設）

合流式下水道の区域325鈔のうち、旧袋川左岸側については、部分的に側溝の整備を行い、旧袋川、山白川、狐川へ雨水を放流して、部分的に分流化を進めます。

## こう取り組みます

- ▼平成15年度 モニタリング調査を行い、合流式下水道改善計画を作成しました。
- ▼平成16年度 国に下水道事業計画の認可変更の手続きを行い、従来の計画に合流式下水道改善事業を組み入れました。
- ▼平成17年度 山地雨水のカット、雨水吐き室の改造に着手します。
- ▼平成18年度 貯留管の建設等を開始します。

これらの事業には、国の補助制度はあるものの、莫大な費用がかかります。ご理解とご協力をよろしく願います。

## 住民のみなさまへお願い！！

- ▶下水の汚れがひどいと処理費用も高くなります。油など大まかな汚れは、紙でふき取るなどして、下水の汚れが少なくなるように、ご協力をお願いします。
- ▶雨水が一度に流出しないよう、宅地の緑化などの配慮をお願いします。
- ▶公共下水道、集落排水が供用開始された地域では、早期接続をお願いします。

■問い合わせ先  
市役所下水道庁舎下水道管理課  
☎(0857) 20-3309  
電子メール gesui-kanri@city.tottori.tottori.jp